



Kansai Vision
2030

「関西ビジョン2030」 概要版



公益社団法人
関西経済連合会

第1章

関西のありたき姿を考えるにあたってのポイント

概要

～策定にあたっての想い、背景・目的・ビジョン位置づけ～ [P4-6]

関西の主な
「強み・ポテンシャル」 「弱み」 [P7-8]

コロナ禍をふくむ
想定されるパラダイムシフト [P9-10]

第2章

関経連が考える 関西のありたき姿

コンセプト

[P13-16]

ありたき姿

[P17]

オープンで独創的な
価値を生む経済

[P18]

ヒトを惹きつける舞台

[P19]

新たな社会モデルの
トッパー

[P20]

第3章

ありたき姿の実現に向けた 関経連の取り組みの方向性

全体像

～7本の矢・視点・推進力・関西の底流にある本質～ [P22]

関経連の取り組み方向性

7本の矢

[P23]

関経連の役割

[P24]

【第1章】



関西のありたき姿を考える にあたってのポイント

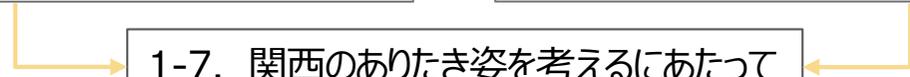
【内容】

1-1. 背景・目的
1-2. 本ビジョンの位置づけ

1-3. 関西の「強み」「ポテンシャル」
1-4. 関西の「弱み」

1-5. コロナ禍がもたらす主な変化
1-6. 想定されるパラダイムシフト

1-7. 関西のありたき姿を考えるにあたって



「先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気」

これが「関西ビジョン2030」のコンセプトです。

1970年大阪万博以降、関西経済は低迷してきましたが、コロナ禍前までの直近は明るい兆しが出てきていました。

足元では、**パラダイムシフトが起こりつつあり、コロナ禍を契機として今後さらに急速に進む**と考えられます。

2030年までの10年間は、社会経済のあり方を新たな形にアップデートすべき「転換期」であるとともに、

関西にとっては「2025年大阪・関西万博」等で国内外から注目される「ゴールデンタイム」です。

コロナ禍の状況を乗り越え、大阪・関西万博を成功させ、SDGsのゴールでもある2030年に向けて関西を

新たな発展軌道にのせていけるか、この先数十年の関西の将来を左右する分水嶺になります。

コロナ禍を変革のきっかけと捉え、失敗を恐れず先駆けていく強い意志と大胆な実践が求められます。

2030年に向けて、われわれ関西がどのような未来を拓き、ワクワクする価値観を国内外に打ち出していくか。

このような認識のもと、「**関西のありたき姿**」を構想し、**今後10年間の活動の羅針盤としての方向性を**

長期ビジョンとして12年ぶりにとりまとめました。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし」

2030年の「関西のありたき姿」を実現する。そしてGRP20%経済圏をめざす。

有言実行し、成果を出してこそその関経連であります。

今後、具体的な中期計画を策定し、不退転の覚悟で挑んでまいります。

公益社団法人関西経済連合会

会長 松本 正義



検討にあたっての背景

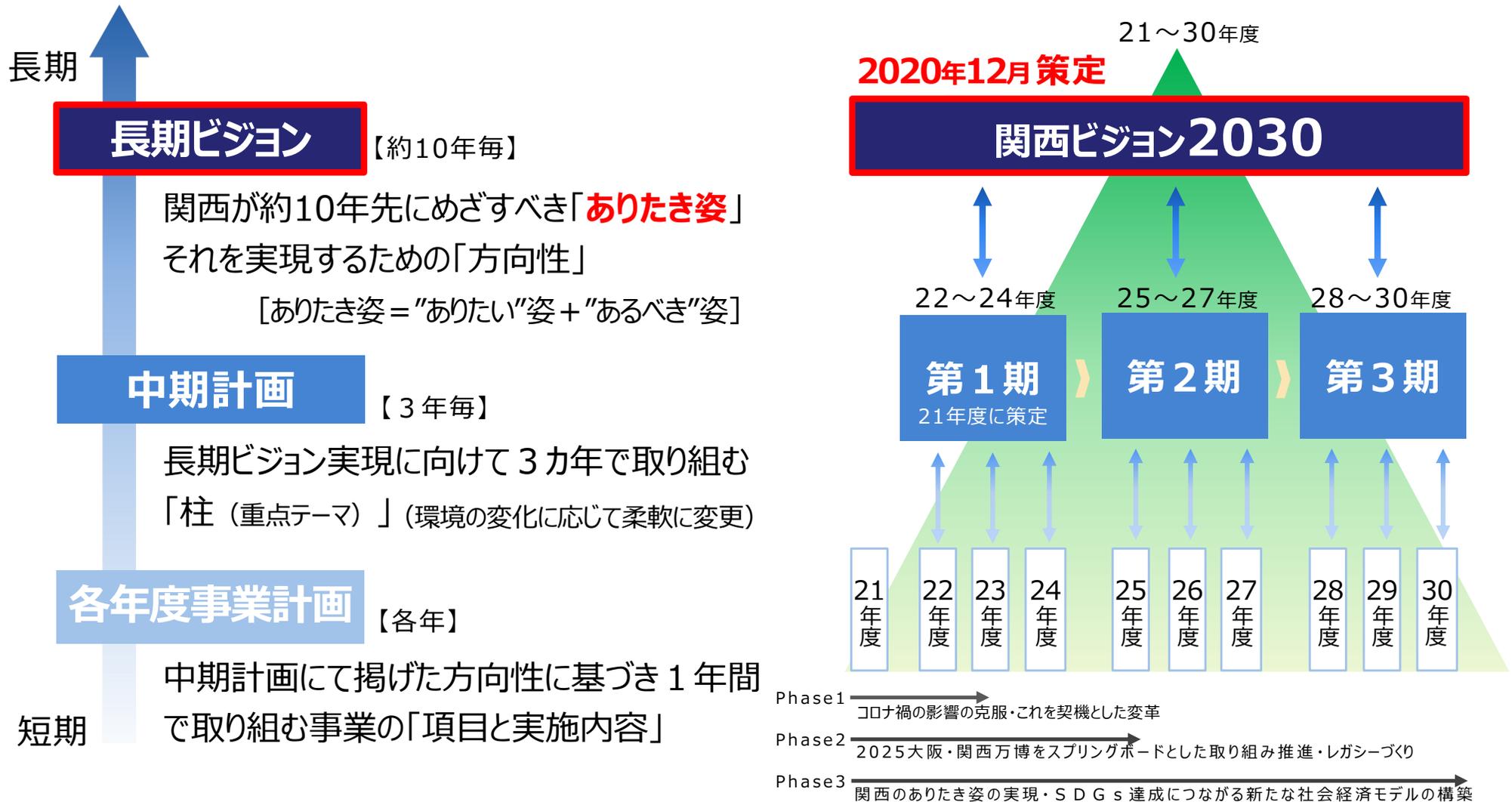
- さらなる少子高齢化・人口減少やグローバル化の進展、技術の急速な進歩・デジタル化、価値観・ライフスタイルの多様化などを背景に、また、新型コロナウイルス感染症が起因となり、**社会経済のあり方が根本から変わる兆し**がみられ、今後も急速に進むことが想定される。
- 関西は、1970年に開催された大阪万博以降、経済や人の流れが長期的に低迷してきたが近年は持ち直しつつある。また、インバウンドの増加や2025年大阪・関西万博の開催などにより**国際的な交流の場として認知度が高まり**つつある。



本ビジョンの目的

- 起こりつつあるパラダイムシフトをふまえ、未来起点から、**2030年に向けた関西の長期ビジョン「関西のありたき姿」「実現するための関経連による取り組み方向性」**を策定する。
- 世に一石を投じるとともに、ありたき姿の実現にむけて関経連による変革と挑戦を国内外に示す。

- “長期ビジョン×中期計画×各年度事業計画”の**3段階構成**。
- **関西ビジョン2030をベースに3カ年の中期計画・各年度事業計画を策定**。
 ビジョン初年度の2021年に第1期中期計画（2022～2024年度）を策定する。



●「進取の気性」

斬新な発想で新たな価値を生む企業が数多く誕生し、生活スタイルを変革する製品・サービスを世に送り出してきた。その原動力となっていたのは、独創性や先駆けた取り組みを評価する文化や、価格の質に対して厳しい目をもつ消費者の存在である

●多様性や失敗に対する「寛容さ」

明治時代には関西域外から来た多くの実業家が関西を舞台に活躍。関西は門戸を開いて多くのヒトを受入れ・育むとともに、失敗を糧にすればよいとして積極的な挑戦を前向きにとらえてきた。

●「三方よし」「利他心」

近江商人の「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」の精神は、多くの関西企業の文化として脈々と受け継がれている根底にある考え方。世界的に普及しているSDGsやESG投資の考え方にも通じる。また、身近に数多くある、企業や市民の寄附によって作られた施設は関西の「利他心」を表していると言える。

●先端的な大学・研究機関の集積

ノーベル賞受賞者の約6割は関西の大学の在籍経験者や関西出身者であり、世界的にも先端的な研究を行う大学・研究機関の集積や独創性を重視する風土の証左である。産と学をはじめ、異分野間などの壁も低い。

●暮らしやすさ・魅力ある多彩な都市

大阪が世界で最も住みやすい都市第4位)、神戸は世界生活環境都市ランキングでアジア第2位であり、世界的な評価は高く、いづれも日本最高位。余暇なども含めた生活の質(QOL)は高い。

●歴史にもとづく伝統・文化の集積、豊かな自然環境

長い歴史もとづく伝統、伝統が生み出す文化を有する関西は、日本のみならず世界の中でも唯一無二の存在。海・湖・川や山などがまちの中心部から近く、自然の美が非常に身近に感じられる土地柄である。

● 広域での連携が不十分

交通手段が馬の時代に線引きされた府県域。現在は**経済圏は府県を越え、往来も非常に活発である**。各地域間が切磋琢磨する「競争」も重要であるが、それぞれの強みを活かす・磨き上げる・ブランドとして確立するにあたっての「共創」に改善の余地あり。非常事態の対応や産業振興など、**広域による全体最適の視点にたった取り組みの進展が不可欠**である。

当会が設立に深く携わった**関西広域連合**の存在によって他地域に先駆けて広域行政が進展しているものの**設立時の期待に見合った成果を生み出している**とは言い難く、さらなる**ポテンシャルの発揮が期待**される。

● 関西としてのブランド力が十分に発信・認知されていない

関西には、特色ある都市が存在し多彩な魅力を発揮してはいるものの、「関西という地域」として世界をはじめアジア各国から認知され、国内外から企業や人を惹きつけるだけのブランド力が十分に備わっているとは言い難く、関西全体としての認知度を国内外に高めていく必要がある

● デジタルシフトの遅れ

デジタル技術が社会・経済のあり方などに大変革をもたらしている。その中で、デジタル競争力ランキングは世界63カ国中27位と後塵に拝している（IMD世界競争力センター）。日本の中でも関西はデジタルシフトに先駆けて取り組むことができているとは言えず、改善の余地は大きい。

● 女性が活躍できる環境が他地域に比べ不十分

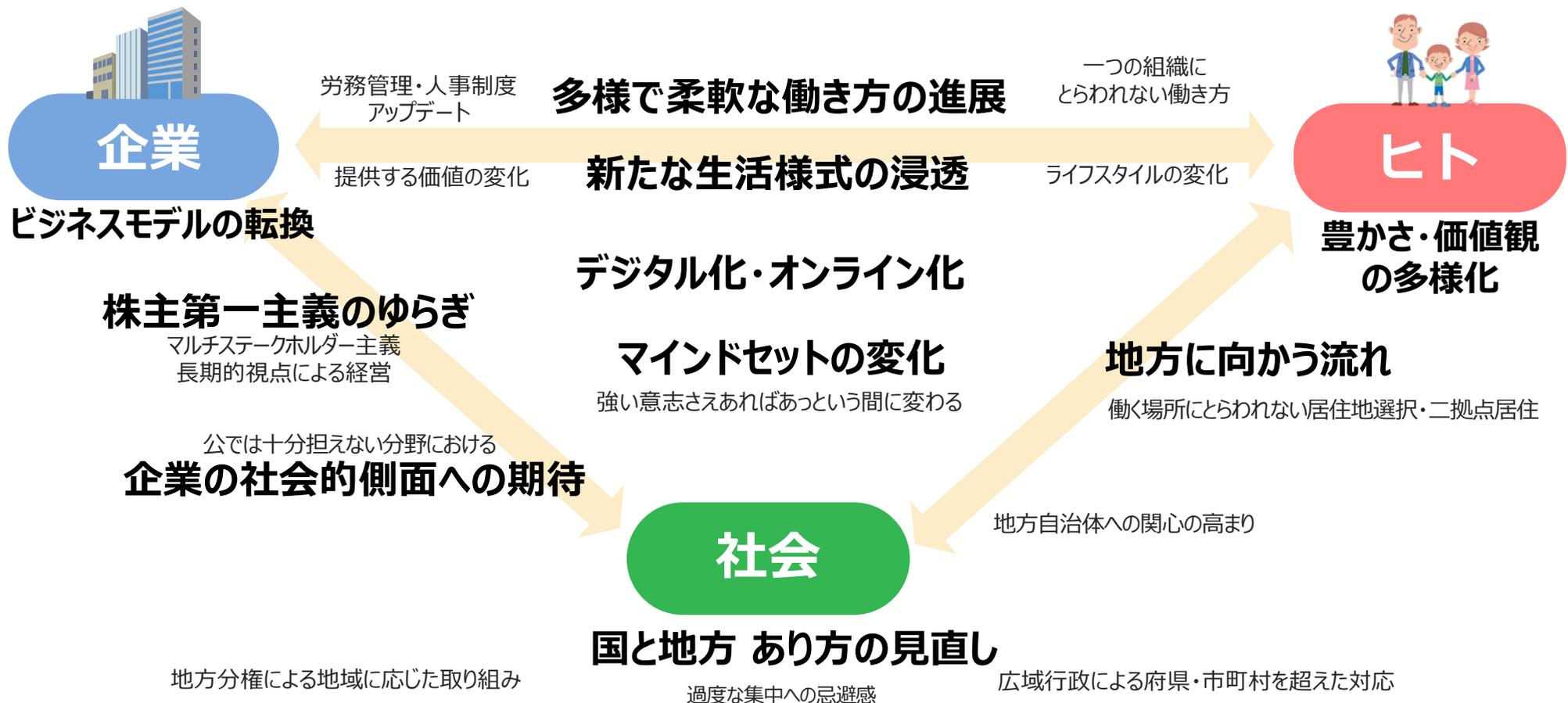
世界的に女性が活躍する環境が遅れている日本であるが、その中でも都道府県別女性の就業率ワースト3位は奈良・兵庫・大阪となっている。正規雇用率も全国の中でも低い。多様で柔軟な働き方・仕事と家庭を両立する環境整備などに包括的に取り組むことで飛躍できるポテンシャルは大いにある。

基本的な考え方

- ・新型コロナウイルス感染症は、社会・経済のあり方など、これまで顕在化しつつあった様々な課題を浮き彫りにするとともにわれわれに突き付けており、**不可逆的な変化**をもたらす。
- ・コロナ禍を**変革の好機**として捉え、ありたき姿に向けたいかに実践していくかを構想することが重要。

コロナ禍がもたらす・加速させると想定される主な変化

～価値観・ライフスタイルの変化・行動変容、社会経済の仕組み、企業経営のあり方～



少し前まで

人口増に支えられたモデル
人口減少は悪・歯止めを、人口増へ

アジアに対する一方通行の関係
教える日本、教わるアジア（～1990年代初めころ）

自前主義による開発が原則
技術・供給を起点にした思考

株主第一主義 志向
フリードマンによる新自由主義、短期利益重視・資産の偏在

山積する社会課題 解決の主体は行政

東京一極集中
他国と比べ首都圏に集中する人口

単線型・画一型の人生モデル

これから

～足元から2030年その先に向けて～

人口減少を前提としたモデル
社会経済のあり方の見直し

アジア・日本双方向の協力による互惠関係

不可欠となるオープンイノベーション
人・需要を起点とした思考

多様なステークホルダーをより意識した経営
資本主義の変容

**社会課題解決に向けた
企業の主体的な役割の高まり**

都市圏の多極化
ローカル志向の高まり、地方分散の兆し

複線型・多様なライフスタイル・キャリア
豊かさのモノサシの変化、越境によるマルチキャリア

ビジョンにあたって考慮する点

関西の「強み」「ポテンシャル」【P7】

コロナ禍がもたらす変化【P9】

関西の「弱み」【P8】

想定されるパラダイムシフト【P10】

関西は世界・日本において
どのような役割を果たしていくべきか



関西が世界・日本に対して
どのような価値観を打ち出していくべきか

関西のありたき姿を考えるにあたって

- 人口減少による国内市場の縮小、急速な技術の進歩などがさらに進むと想定される。世界トップレベルの**大学・研究機関などの集積**、各々の強みをもった**様々な関係者の混じり合いを活かし、先駆けて新たな価値を生み出していくこと**が求められる。
- 地域や企業の**競争力の源泉はヒト**にある。多様化する価値観・豊かさのもと、関西ならではの**進取の気性・寛容さや多彩な暮らしといった魅力**を活かし、**先駆けて取り組むヒトをいかに関西に惹きつける**かという視点が不可欠となる。
- 関西には、経世済民の考えのもと、経済発展とあわせて社会を強く意識してきた歴史があり、これはSDGsなどの**世界的な潮流と考え方に通じるものである**。そんな関西自らが先駆けとなり、一部**機能不全にある社会の様々な仕組みをアップデートすべく、新たな社会モデルを提唱・実践**していくことは重要である。

【第2章】

関経連が考える 関西のありたき姿

【内容】

2-1. コンセプト

2-2. 参考



2-3. 全体像

2-4. ありたき姿 ～オープンで新たな価値を生む経済～

2-5. ありたき姿 ～ヒトを惹きつける舞台～

2-6. ありたき姿 ～新たな社会モデルのトップランナー～



コンセプト

「先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気」

進取の気性

ユニークさを評価

新しいことを受け入れる

挑戦を後押し

誰でも挑戦

失敗に寛容

多彩な魅力がある

従来、関西は、国内外からヒトを惹きつけ、先駆けた取り組みや変革を通じて時代に応じた社会経済の新たな形をつくりあげてきた。

しかし、バブル崩壊後の「失われた30年」のうちに、その心意気が薄れてしまったのではないか。そして現在、われわれはコロナ禍による大断層の真っ只中にある。

今こそ関西は、集団で行動する群れから先駆けて飛び立つファーストペンギンの心意気で、先駆けて取り組む企業やヒトを惹きつけ・育むことで新たな価値を生み出す地域になる、また、関西自らが先駆けとなって社会経済の新たな姿を提示・実践していく。

【ご参考：ファーストペンギンについて】

集団で行動するペンギンの群れの中から、天敵がいるかもしれない海へエサを求めて最初に飛び込むペンギンのこと。転じて、先駆けて新たな取り組みを率先して行う主体のことを例えてファーストペンギンと呼ぶ。



ファーストペンギンとは

天敵がいるかもしれない海へ飛び込むことをためらっている群れの中からエサを求めて最初に飛び込むペンギンのこと

これが転じて

「先駆けて新たな取り組みを率先して行う精神の持ち主」
に対して敬意を込めて「ファーストペンギン」と呼ぶ

高校の教科書でも用語として使われるとともに

NHKの朝ドラ「あさがきた」では
失敗を恐れずに挑戦する主人公を
称える表現して用いられた。



江戸時代



物流・商業の中心地に
全国物資の集散地・世界初の先物市場



菱垣新綿番船川口出帆之図

明治時代



全国から関西に集った企業家
工業化・近代化を推進

東京奠都、蔵屋敷・銀貨制度廃止

官営工場などの立地（舎密局・造幣寮・砲兵工廠）
神戸開港、琵琶湖疏水、鉄道網整備・地域への電力供給



摂州神戸海岸繁栄之図



琵琶湖疏水
(第三トンネル東口洞門)

大正・昭和時代



繊維・電機業界が経済を牽引

第2次世界大戦・中央集権体制
～国主導による東京傾斜～



東洋のマンチエスター

1946～80年

80～00年

00～現在

※全て年度



コンセプト

先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気

“Kansai, the front runner – Always being a First Penguin – ”

ありたき姿



オープンで独自の価値を生む経済

～先駆ける企業が価値を生む～

“Economy that welcomes and creates original values”



ヒトを惹きつける舞台

～先駆けるヒトを「育む」「受け入れる」～

“Platform that attracts and nurtures progressive people”

新たな社会モデルのトップランナー

～関西自らが先駆けとなって新たな社会を切り拓く～

“ Front runner in creating future models for the society”



オープンで独創的な価値を生む経済

～先駆ける企業が価値を生む～

域内外の様々な人や多様な価値観が領域を越えて混じり合うことで、それぞれの魅力に磨きをかけるとともに新たな独創的な価値を生み出す。変革や新陳代謝を先駆けて行ってきた気風を発揮し、経済活動を活発にすることで雇用創出・所得増、自治体の税収増など地域が活性化する好循環を生み出し、GRP20%経済圏の復活をめざす。

具体的なありたき姿

【関西の強み】 大学・研究機関の集積、関西の精神性（面白さへの評価・進取の気性）

【変化の兆し】 付加価値の源泉の変化、脱自前主義・オープンイノベーション

変化に柔軟に対応し 新たな価値を生みだしている

領域を越えた混じり合いが活発にある

産学官、大企業とスタートアップ、地域を越えた混じり合い

関西各地に**特色あるイノベーションを生む拠点が**
勃興している

関西域内各地における独自の価値に磨きをかける「大都市圏+X」

アジアをはじめ世界との 双方向のつながりが活発にある

各国との連携を通じて
ビジネスが創出されている、人材交流が促進されている

インバウンドが復活・拡大、地域と共存している



ヒトを惹きつける舞台

～先駆けるヒトを育む・受け入れる～

さまざまな価値観を持った意欲あるヒトがその能力を最大限発揮できる環境を整える。地域や企業の競争力の源泉となるヒト、特に進取の気性で先駆けて取り組むヒトを受け入れ・育むことで、常に活気にあふれて成長力を持っている、ヒトを惹きつける「舞台」となることをめざす。

具体的なありたき姿

【関西の強み】 多彩で豊かな暮らし、関西の精神性（寛容さ）、伝統・文化、豊かな自然環境

【変化の兆し】 豊かさの尺度の変化、ローカル志向、多様で柔軟な働き方の進展

先駆けの地として 憧れ・選ばれる要素が揃っている

チャレンジが生まれやすい状況となっている

やってみたいという欲求や自己実現の願いを叶える環境がある

多様性を受け入れる**寛容さ**がある

個人の意欲・経験・能力を社会課題の
解決に活かす仕組みが整っている

暮らしやすい多彩な魅力がある

QoL（生活の質）が高い

各人のライフスタイルにあった多彩な魅力、心地よい社会とのつながり

関西としてのブランドイメージが
確立されている

近年形成された限定的で特異なイメージの脱却・払拭、
地域への誇りや愛着の醸成

関西にある唯一無二の価値の継承と発展

時間を積み重ねてきた不易なものの価値の尊重

新たな社会モデルのトッパーナー

～関西自らが先駆けとなって新たな社会を切り拓く～

関西が脈々と受け継いできた普遍の価値観である「三方よし」等の精神をベースとして、様々な社会の仕組みを新たな時代に合った形にアップデートすべく、関西・関経連自らがファーストペンギンになり、新たな時代の主流・当たり前となる社会モデルを提唱するとともに自ら実践して構築していく。

具体的なありたき姿

【関西の強み】民の力・利他心、関西広域連合の存在

【変化の兆し】ESG投資拡大・環境意識の高まり、国と地方のあり方の見直し、自然災害の激甚化、温暖化

企業による社会への関わりの新たなモデルを実践する

社会の公器としての企業の役割のあり方が浸透され、社会課題の解決に向けて取り組みが促進されている

国と地方のあり方の変革をリードする

地方分権が進展し、特色ある地域運営を通じて多極繁栄となっている

関西広域連合による広域行政の拡大・深化を通じた発展戦略が推進されている

SDGs達成につながる 持続可能な社会をリードする

グリーン成長および「S+3E」をふまえた脱炭素社会に向けた革新的な技術・取り組みが広がっている

自然災害や感染症に対して強靱で安心・安全な社会となっている

【第3章】

関西のありたき姿実現に向けた 関経連の取り組み方向性・役割

【内容】

3-1. 全体像 ～関西の底流にある本質・推進力・視点、7本の矢～

3-2. 取り組みの方向性 ～7本の矢～

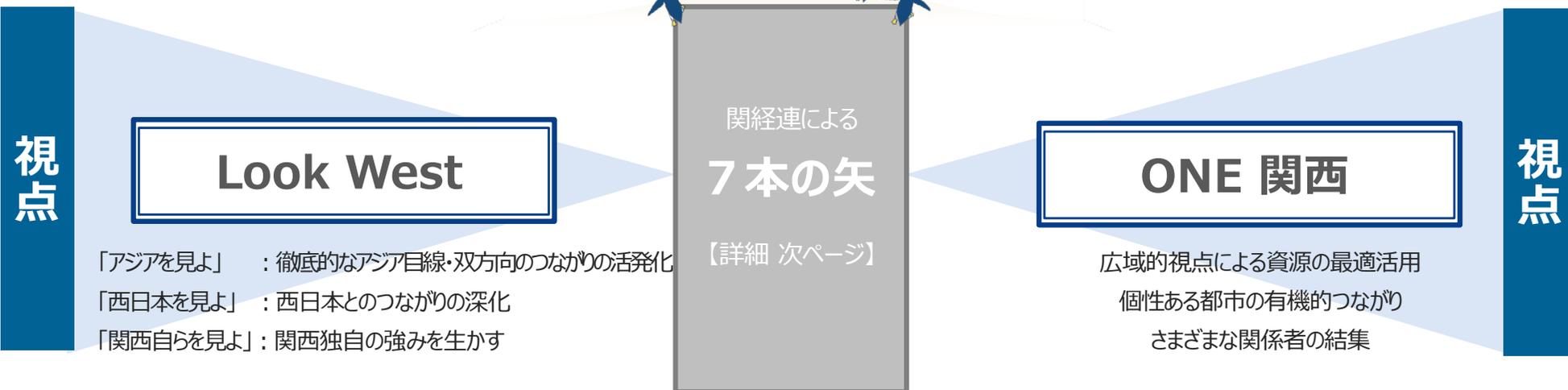
3-3. 関経連の役割

ありたき姿

オープンで独創的な価値を生む経済

ヒトを惹きつける舞台

新たな社会モデルのトップランナー



推進力

知の拠点としての
大学の力

世界的にトップレベルの知の拠点
研究開発をはじめあらゆる面での共創パートナー

共創

民の力

三方よしをはじめとする経営哲学・利他心
行政任せにせず民が主導する気概

共に創

行政の力

関西の底流にある本質

歴史にもとづく伝統・文化

関西の精神

～寛容さ・面白さや独創性への評価・進取の気性～

①

アジアをはじめとする 世界との双方向のつながりの強化

- 「アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)」推進
- 世界における交流拠点としての機能強化
外国人視点での魅力向上・発信、インバウンドの復活・拡大に向けた先駆的な取り組み提案

③

道州制実現につながる 地方分権・広域行政の促進

- 関西広域連合の機能強化に向けた取り組み
広域の視点で実施すべき施策に必要な権限・財源の大胆な移譲に向けた提案
- 道州制を含む分権・分散型社会に向けた働きかけ

⑤

多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備

- 活躍の場を求めるヒトを惹きつけ育むNo.1地域に向けた実践
企業を舞台に活躍したいヒト（まずは女性・留学生）、
様々な分野で世界に先駆けるヒト（起業家、トップアスリート、アカデミアなど）、
一つの組織にとらわれない・雇用によらない働き方を選択するヒト
- 雇用の多様性と流動性の向上に向けた取り組み
企業の雇用制度・大学教育のあり方、各法制度などに関する先駆的な課題提起

⑦

プロジェクトDX in 関西

- 地域としてのDX推進の諸方策をとりまとめたブループリントの策定 ～「関西DX戦略2025(仮称)」～

②

あっちこっち関西・イノベーションプロジェクト

- 企業や大学などの枠を超えた協業や研究開発の活性化につながるイノベーション・エコシステムの構築
- 関西各地におけるイノベーション創出や社会課題の解決に向けた多様な主体による混じり合い・協業を促す仕組みづくり

④

三方よしにもとづく 「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり

- 多様なステークホルダーを意識した新たな時代における企業が果たすべき役割のあり方を浸透させるための仕組みの提唱
- 行政などと企業の連携強化に向けた取り組み
(テーマ例：地方の活性化や災害対応、エネルギー・環境問題、各社会課題など)

⑥

心身ともに健やかになる活力ある地域づくり

- 健康・医療分野におけるデータ利活用の推進
- スポーツ先進地域に向けた取り組み
「する」「みる」「ささえる」スポーツの活性化、ワールドマスターズゲームズ2021関西のレガシーを創出・継承する仕組みづくり
- 文化の継承・発展に向けた取り組み、豊かな人生につながる学びの場の創出に向けた検討

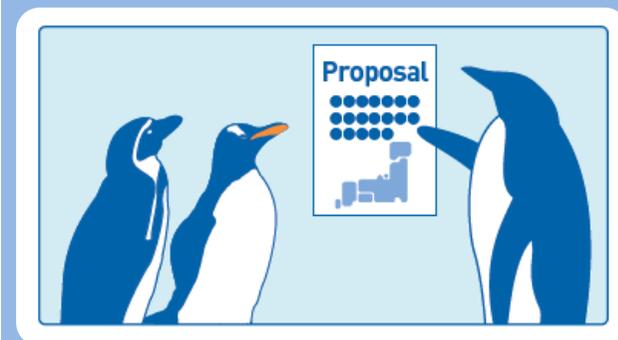
ビジョンとロードマップ の策定



公益社団法人
関西経済連合会

5つの役割

思い切った政策提言 実現に向けた働きかけ



実践的アクション



関西の総意形成や 地域が一体となった 取り組みの先導



アジアを中心とした グローバルな交流



【付論】 7本の矢とSDGsの関係

※特に関連するものを記載

<p>1 貧困をなくそう</p> 		<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 		<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	
<p>2 飢餓をゼロに</p> 		<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>①アジアをはじめとする世界との双方向のつながりを強化する仕掛けづくり ②あっちこっち関西イノベーションプロジェクト ⑤多様な人材の能力を最大限引き出す環境整備</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>⑥心身ともに健やかになる活力ある地域づくり</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>①アジアをはじめとする世界との双方向のつながりを強化する仕掛けづくり ②あっちこっち関西イノベーションプロジェクト</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> 	
<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>⑥心身ともに健やかになる活力ある地域づくり</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>⑤多様な人材の能力を最大限引き出す環境整備</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>⑤多様な人材の能力を最大限引き出す環境整備</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>③道州制実現につながる地方分権・広域行政の促進</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>③三方よしにもとづく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 		<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 		<p>特に下記3つの矢については今後焦点を当てるテーマに応じて各目標と関連する ③道州制実現につながる地方分権・広域行政の促進 ④三方よしにもとづく「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり ⑦プロジェクトDX in 関西</p>	